（明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可）（日刊）日曜日及祭日休刊　明治四十二年十一月九日（火曜日）　第二百五十九號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年　紀元二千五百六十九年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
大祭日及び日曜日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
發行所　京城新報社　京城西署西小門通（電話六六三）

甘茶澁茶

▲外交も餅と酒歟

我實業團の米國に歡迎せらるゝや直ちに日米の親交の倍々敦きを加へたりと喜び、英露兩帝の一たび會見せらるゝや直ちに双邦從來の惡感を銷鑠し得たりと説き、藤公の哈爾賓に露の藏相と十餘分の會見をなすや直に日露双方の誤解は爲めに拂ひ去られ公の使命は既に爲し遂げられたりなど喞す、今又た英の吉將軍の我國に盛に歡迎せらるゝを見るや路透電函に直に英人の對日感情と題し「英國諸新聞は日本がキッチナー大將に對する頗る懇切なる歡迎について滿足の意を表し日英同盟の益々鞏固なるを説き且つ日本が來年通商條約の廢棄を通告し更に新條約を締結するに對し生せる總べての感情の消散せることを言明す」と記載する新紙あり、此の如きの記事は日々諸新紙に散見する所なるが、國交なるものがシカク簡作なるものなりとすれば外交術も糸瓜もなかるべし、然れども尙忘るべからざる手段の一なりと云へば外交の其れも亦た所謂友に交はるの道に近く[illegible]牡丹餅を以てするものに類するか。

▲不阿權怨是報

「恩を忘るゝ怨を報ゆる強きを挫いて弱きを助く」とは俠客者及俠士の誇る所、何ぞ其れ思はざるの甚だしくして顧ゆるこの馬鹿氣きったるや、善に强きも必ずしも惡にのみ是れ强きにあらず、惡に強きもの未だ必ずしも惡にのみ是に强きにあらざるなり、偶々其の物ふ所を異にして執る所の同じからざるしのみ、惡人何ぞ始めより其れ惡人ならんや動機の捕ふる所となり理性の乏しきが爲にして敗殘の徒となり、不幸にして乃ち言ふ一たび陷るは遂せば大惡人たるの力あるものにあらざれば善にも亦た强からざるなり、怨みを酬ゆるの氣概なきものゝ爲に恩を感ずることを爲さん、無暗に强きに楯向ふの蠻勇を弱きを扶くるの心とせん、權者に阿ねらざるものにして甫めて弱者の憫れむべきを解し怨を酬ゆるの氣概あるものにして始めて恩に感ずるものなり、只

酒々落々胸宇に繫るなきを是れ要するのみ。

伊藤公の上奏文（上）

雜報

伊藤公將に立憲政友會に入らんとするや自ら筆を執り一篇の上奏文を起草したり其本文の九重の天にあるはいふまでもなけれど其草案は過つて紛失したり是れ公が生前に於て深く自ら遺憾とせるのみならず公の傳記を編まんとする者並に我憲法史を修めんとする者の齊しく痛惜し措かざる所なりしに偶然にも之を某所より發見したり其文に曰

臣博文誠惶誠恐頓首々々

伏惟みるに　陛下登極夙に中興の皇謨を建て公論に問ひ經綸を行ひ庶政を振作して列國と對峙せんことを期圖せらる而て封建を廢し臣佑自治の法を設け[illegible]明文により臣民の[illegible]與することを許され盛[illegible]祖の擬建に接す臣無[illegible]譽を擔ひ夙夜戰兢以[illegible]ふ私かに惟みるに內[illegible]り衞を萬國に比し文[illegible]ら端容易ならんや中興の事草創に屬す更に企[illegible]甚だ少しとせず帝室[illegible]範に於て其大綱を示さ[illegible]施行に關しては未だ條[illegible]きものあらず國家爲[illegible]之れが組織權能を定め[illegible]統治大權の施用を完[illegible]以十年の成績未だ善良[illegible]臣私かに自ら揣らず黨[illegible]立法の機關を洗刷する[illegible]會を創立して同感の士[illegible]に投じて以て微衷を[illegible]憬々の心帝國の憲政[illegible]く濟さしめ維新の皇謨[illegible]傚せしめんとするに外[illegible]實深く洗刷從て難し臣[illegible]く爲すことを期せずと[illegible]まんと欲して止むべか[illegible]陛下に乞ひ奉る[illegible]も帝室制度調査局は臣[illegible]陛下嘉納以て設置を[illegible]のなり臣乏しくして其[illegible]一年未だ其効を擧ぐる[illegible]焉んぞ堪へん則一朝にして辭するは臣が衷情に於て安んずる能はざる所なるも事態に於て止めざるべからざるものなり（續く）

免許漁業請願と當局

免許漁業請願に對する農商工部水産局の調査は鋭意進捗中なるが何分にも昔類の件數意外の多數にして現に去月中旬には五千六百餘件を算せるに其後更に增加して六千餘に超過し尙ほ倍々增加の形勢にあり然れば恰かも一件了れば一件次いで來るの有樣にて殆んど際限なき次第なるに事件の性質上相互の權域を劃定して將來紛爭の因を貽さゝる樣愼重なる注意を要する爲に思の外複雜なる手數を費さゞるべからず故に認可を與ふまでには尙ほ暫くの時日を要する由に聞けり尤も本月中には數百件の認可指令を交付するに至るべしと

府尹並に郡守の欠員

客月末內部調査によれば府尹郡守の缺員は各道にて總計四十三名なるが（漢城府を除く）內譯は左の通りにして目下補塡中なるが從來病氣死亡等の爲め缺員頗る多く二三箇月以前迄は三郡に一人の郡守のみなりし時なぞあり近來に至り漸やく缺員の減少を見たるなり

京畿	一	江原	四	黃海	一
平南	三	平北	四	咸南	一
咸北	一	慶南	四	慶北	七
全南	三	全北	七	忠南	六
忠北	一	合計四十三名			

鴨綠江に燈臺の新設

關稅局は來る十一月十日より鴨綠江水運島に燈臺を新設する旨告示せり其位置は日本海軍水路部刊行海圖第三百五十號に依り北緯三十九度四十一分二十秒東經百二十四度二十四分十四秒なるが冬季結氷中毎年十二月一日より翌年三月十日までは點燈を停止する筈なり

◎新刊紹介

●東洋時報（一三三）　臺灣協會の後身東洋協會の發行にかゝるもの對外經營機關、東露の近狀、群山農業の將來、近世殖民事業、黑龍江に於ける漁場生活等一讀に値す其他美麗なる寫眞版數多挿入しあり（東京麴町內山下町）

●銃獵界（五の十）　時節柄紙面賑かに各地銃獵の天狗談を以て埋めらる（横濱本町二金丸銃砲店）

●廣告界（二の二）　一週年紀念號心理學上より見たる廣告の大小、都市の隆盛と廣告、偉大なる廣告の奏功手段、寶出と客寄せ等實業家の見るべき文字多し（東京々橋瀧山町廣告倶樂部）



第二十六席

伯山改　神田松鯉口演

爲朝は鶴を背負ひて漸くに京都六條堀川の館へ到着されましたので、父爲義を始め御兄弟の御悅びは一方ならず爲義朝臣は直ちに鶴を持ちて院の御所に參りて之れを參らせましたが、近頃近衞天皇の御病篤きため一院（鳥羽上皇）は少しも悅びたまはず、此鶴こそ、昔源義家が夥多の冤魂退福の爲めとて放ちたるものの今我之れを蓄ふること大の不吉なりとあつて、御庭に於て鶴を放させ給へば鶴は再び翁を出で九天高く飛上つて、御曹司が琉球まで往きて捕へ來りし苦辛は忽ち徒事となりましたので、爲朝の大に失望されましたのも誠に無理ならぬ次第であります、さて爲朝は折角の苦心も水の泡となりましたので、長く都に居つた所で何の益もないと思はれましたから、近々又筑紫へ下らんと思ひ居られまするを、或日の事德大寺中納言公能卿勅使として御出あり、爲義朝臣何事ならんと御出迎致し、上座に直して謹んで頭を下げまするを德大寺卿は左の宣旨をば渡されました、爲義拜見致すと

源爲朝久住二宰府一忽二緒朝憲一成背二綸言一梟惡頻聞狼藉尤甚早可レ令レ禁二進其身一仍二宣言一執達如件

とある此御達の主意は爲朝は不屆の奴、勝手に九州を征伐して不都合千万、閉門仰付けると云ふのだから爲義朝臣大に驚いて「爲ヨハ思ひ掛けなき宣旨を承はるものでござる、成程八郎が鎭西にありて武威を逞しふ致せしは其罪免かれがたく候へども、彼の鶴をだに獻上なさば八郎の罪を赦され且九州總追捕使の官に任じやらんとの御內命もあり、かたく八郎も宣旨を重んじて琉球までも渡り漸く鶴を得て遙々上洛致し候に、恩賞は愚か其鶴は放ちやり遂に斯くの如き宣旨を賜はることそ臣の身に取り少々恐ひ申す處でござる」と老の身の流石に武士とは云へ涙を流して申しまする、爲朝は驕たる氣色もなく「御父上さ[illegible]れ信西の爲す業でござる、拙者兼てより斯くわらんと思ひしも、もし上洛致さねば御父上へ[illegible]に及び候時は[illegible]んも殘念と、九[illegible]もの最早某は九[illegible]らんに依つて、謹んで朝命に從ふでござろう」と男らしく申述べた、僅か一年の間に平定したものとは言へ、大小數十戰を經て漸くに平定したる九州をば、朝命を畏んで之れを棄てねばならぬことに至りましたのは誠に已むを得ぬことであります、是より爲朝父の館に籠つて一歩も外出致さず謹んで罪を待ち給ふとは殊勝の至りでございます、所が此時の帝近衞天皇と申すは鳥羽上皇の御子にして寵妃美福門院の生み給ふところでございますが大病に罹り給ひて遂に十七歳にて崩去ましました、さて其後へ立ち給ふべき帝は先帝崇德院の第一皇子一ノ宮重仁親王が順序であるに、美福門院の御計ひにて四ノ宮雅仁親王御位に即き給ひましたが是れぞ即ち後白河天皇であらせられます、畢竟近衞天皇の早世し給ひしは崇德院が呪咀し給ふ所なりと美福門院は思召し大に崇德院を恨みたまひし爲めに斯くは御計らひあらせられたので、崇德院は大に怒らせ給ひて、愛に端なくも崇德院と後白河天皇と御兄弟の皇位を爭ひ給ふことゝなり、保元の亂が起つたのでございます

御話は變つて爲朝が太宰府を立ちましてより後妻の白縫は何卒一日も早く無事に御歸りあれと祈りし甲斐も情けなや、或日都より使あり御曹司の君は朝廷の譴責を蒙つて六條堀河なる御父の館へ押籠められて在すと聞き、爲朝の御身の上に過ちのなきやうと、紀平治の妻八代を太宰府の天神へ代りに日參させ、今一ト目夫に逢はせ給へと心願を籠められました



京城新報

議會と韓國問題

來月廿二日を以て召集せられ翌日開院式を擧行せらるべき第廿六議會は果して如何なる活動を以て始終すべきか。本年の第二十五議會は例の恒松進行博士によつて無難作に大なる波瀾なくして了りしも、地租問題増俸問題殊に關税改正てふ重要議事の議題に上るべき今期議會は、産婆の首を捻る程の難産なるべく、殊に藤公薨去の後を受けたる政友會の態度、憲本大同又新派の去就と桂總理の操縦如何は、直ちに議會の賑かさに關し議會の賑ふと賑はざるとは軈て國民の休戚にも關することなれども、开は其場合に看視論議すべきのことにして、今は只我が國民殊に海外韓國にある我同胞の如何に今期議會を利用すべき歟に在り。

由來邦人の韓國に對する極めて冷淡にして、隨て克く韓國の事情に通ずるもの至て尠なく、偶々韓國に對する重要議事の議會に提出せらるゝもあるも熟論凝議するをなくして一過し去るの有樣なりしが、國民も昨年來は稍々心を韓國に留め、議員も唇亡口寒を今更の如くに感じ來りたるは、後れながらも喜ぶべき現象なるに加へ、今回圖らずも藤公の遭難ありてより劇に韓國々々を連呼するに至りたるは、吾人に取て得難きの好機運にして、吾人は年來企てゝ遂げ難はざりしもの、新たに企劃すべき問題を提げて、今期議會に臨まざるべからず。

元來我在韓者の少しく達觀の眼あり、經綸の才あるものにして縱論横議所謂韓國經營を口にするも开が只徒事に屬して滔々たる幾萬言の名議卓案も終に空論と化し了はるもの往々にして是れあるは、嘆げかはしき次第なるも、這は畢竟言を其の道に致さず議を其の所に附せざるに由る無からずや、韓國の我國に於ける關係今事新らしく言ふまでもなく、殆ど我國と同一視する韓國に於ての諸問題の考究すべきもの多々あるべきは論を俟たざる所なるも、差し當り關税問題の如き鐵道問題の如き之を議會の前に捧ぐるは在韓邦人の應に執るべき緊要事ならずとせず、時は迫れり期は近けり、須く韓國に志あるものゝ其の蘊蓄する所を傾け、劃する所を盡し、之を議會に提出するの準備に汲々すべきは、實に今日にあるなり若し夫れ政黨の向背、政府の懸引、議員の行動に至ては、別に看視するの道あるべく要は只此の好機に此の議會を在韓邦人の無意味に終はらしめざるべきにあるなり。

東京電報

▲大演習の二日目

本日は雨天の爲め大元帥陛下には大演習御野立所に行幸あらせられず(八日)

▲キ元帥の退京期

キッチナル元帥は十一日演習地より歸京芝離宮に滯在朝野の歡迎を受けて十六日退京途中京都二泊奈良、大阪を經て廿日神戸より歸國の豫定(同上)

▲豫算案の確定期

明年度各省事業經費の要求は全部出揃ひとなり豫算案編成は本月中を以て完了すべく桂首相より兩院各派幹部に豫算案を内示するは來月上旬なる可し(同上)

▲英皇誕辰と祝賀

本九日は英國皇帝エドワード二世陛下の御誕辰日に相當するを以て同大使館にては内閣諸相及び東京駐剳列國使臣の祝賀を受けられ吾が 天皇陛下は祝賀大使として式部長官戸田伯爵を同大使館に御差遣相成りたり尚は本夕は吾が文武官列國大使を招待して夜會を催ふさる可し(九日午前發)

▲東宮殿下の行啓

皇太子殿下は本日午前十時新橋驛御發輿神奈川縣下にて擧行の近衞師團機動演習地へ行啓遊されたり(同上)

▲樞相後任の行悩

樞相の後任には山縣公説傳はれるも同公は武斷派の首領にして桂首相の宣明せる伊藤公の平和政策繼承と相容れず故に這は當推測にして到底現實困難なり又井上侯を推さんとするも侯は嘗て固辭したる歴史あれば結局肯んぜざるべし又西園寺侯は最も適任なるも政友會統率上不可能なり然れば不得已松方侯を推薦し薩派との權衡を保持せんと企つべし若し侯是を受けざれば東久世副議長を昇任せしむるやも計られず兎に角斯る行掛かりにあれば後任決定は尚ほ多少の時日を要すべし(同上)

▲對韓問題と記者團

對韓問題發展に付き大に國論を喚起せんとて成立せる京阪新聞記者團は準備委員として福田和五郎、相島勘次郎、倉知白蛇、櫂藤靈二、奥田誠夫、重野珠城の六氏を推擧し各元老閣臣及各政党首領を訪問し併せて右六氏をして諸般の斡旋統一を爲さしむるに決し本日より活動を開始せり(同上)

▲陰陽線の特定割引

鐵道院は山陰、山陽の貨物特別割引賃金を開始し併せて新設又は追加し來る十二月一日より施行す(同上)

▲高平大使の任命

米國駐剳大使を免ぜられたる高平小五郎氏は臨時外務省の事務に從事することを命ぜられたり(同上)

▲大演習全く終了

本日大元帥陛下には御野立所にて兩軍の決戰を御覽ありたる後奥參謀長より講評あり終りて優渥なる勅語を賜ひ大演習を終りたり(同上)

▲議會召集の詔書

本日官報號外を以て左の詔書出づ(九日)朕憲法第七條に依り十二月二十二日を以て帝國議會を東京に召集す

▲同志會の組織成立

新聞通信記者團の發起に成れる前電の韓國問題同志會は茲に組織成立し汎く同志を糾合するに決す(同上)

▲渡米實業團の歸朝

我實業團一行は七日シンシナチーに着し盛んなる歡迎を受けたるが歸朝后東京にて總會を開き解散式を行ふべく水野總領事も一行と共に歸朝の筈也

倫敦電報

▲日英博と加藤氏

加藤大使は日英博覽會の成功且日英間の政治的商業的關係を一層親密ならしめんか爲め全力を盡さんことを言明せり(八日東京經由)

▲英上院と豫算案

デーリーテレグラフの所報によれば英國上院の豫算案否決は明に決定せられラムスダウン卿より動議を提出すべく期待せらる(同上)

▲皇室の珍寶質入

テーラン來電によればペルシャ政府はアルゼルビルの暴徒鎭壓に要する經費の支辨に關し非常會議を開き皇室の珍寶を質入するを可決せり(同上)

北京電報

▲清國官吏の異動

曹汝霖外務部右丞に任ぜられ以下多數の交迭ありたり(九日發)

雜報

大臣會議の中止

本日は韓政府大臣會議の例日なるも曾禰統監病氣引籠中なるが爲め中止せり

軍司令官の東上

大久保大將の大演習陪觀は中止せられたるも近々東上せらるゝ筈なりと

航路補助と當局

黄海道より忠淸南道に到る航路開始計畫の爲め三萬八千圓の補助金下附方を仁川加來榮太郎氏外六名より韓政府へ請願したるも連名にては責任の歸一なきより代表者を定むべく促がされ遂に加來氏より再願したり然るに同氏の代表に就き他の連名者不服を唱へ紛擾を極め居る事既報の如くなるが其後聞く處によれば會社組織を希望するものと代表者を撰定し經營せんとの説とに別れ今に解決を見るに到らず之が爲めに折角の請願書は宙空に迷ひ當局者は徒らに願者の妥協を待ち居れり而して此件に關し昨日信夫仁川理事官は農商工部を訪ひ木内次官及菊地局長と懇談する處ありたり

金融組合の設置方針

韓國人は他國人に比し一層深き慾望を有するにも拘らず殆ど全く貨殖蓄財の念なきは誅求收斂の秕政の宿弊なれども因襲の久しき終に習ひ姓となり自己及び家族の生計を支ふるに足る收入以外にて決して働かず終に遊惰の民と化したるが之を矯正するには先づ貯蓄心を養はざるべからず貯蓄心を養ふには手近に各地に金融組合を組織せしめざるべからずとして目賀田顧問時代より此が計畫を立て一昨年取敢へず之に着手して同年度より昨年度にかけ五十個所の設立を見たるが本年度には本月初め度支部須田囑托が出張列席したる公州金融組合を最終に都合豫定通りの五十個所を設立し終はりたり尚は度支部の方針に由れば三百十八の郡に悉く一個所を設立する譯にはあらず間には一郡二個所の郡もあり郡内設置なきもある由なるが國内を通じて三百個所を設くる豫定にて明年度に百個所同後年度に百個所都合三百個所を設置する積りなりと云ふ

第二回度支部統計表

豫て度支部文書課に於て編纂中なりし第二回度支部統計年表は昨日を以て調製を終りたるが第一回の統計年表に比し内容に幾多の改良を加へたり第一卷頭に歳入歳出、歳入種別、各道結數比較、各道地税課税額比較、貨幣流通狀況、外國貿易趨勢、金融概況等美麗なる圖表七葉を挿入し韓國に於ける財政經濟狀況を一目指呼の間に瞭然たらしめたる事第二新に倉庫其他の經濟統計を増加し各項いづれも土地、季節並に種類等の關係につき觀察せし事、第三官業工場、生産力及び生産費の如き銀塊相場中金銀比較を表示したるが如き物價指數表示上の分類の如き頗る用意周到に編纂しあり

清州の現在及び將來

忠淸北道の觀察道を忠州より淸州に移して未だ數年ならざるも當時邦人の在留者僅かに七十餘名なりしに今や五百を以て數なるに至り益々發展しつゝあり而して淸州の地たる兎も角全道を負ふ最も樞要の位置にあり富むと云ふ程にあらざる迄も相當の農産物を有するを以てしても將來充分の見込みあれば起業家は須く同地に赴き諸般の經營するも又可ならん現在に於ては疲弊せる

在韓帝國民教育現況

在韓帝國民の教育及保育機關現狀に就き統監府の調査によれば左の如し

	校數	生徒數	職員數
尋常科			
指定小學 民團立	二	一、八〇四	三五
指定小學 其以外	：	：	：
指定外 民團立	：	：	：
指定外 其以外	四九	一、三五〇	七九
尋常高等科			
指定學校 民團立	三	七、八五三	二〇六
指定學校 其以外	三	三〇四	二四
指定外 民團立	：	：	：
指定外 其以外	五	九〇四	五〇
指定中學校 民團立	一	一六五	九
指定女學校 民團立	一	三六	三三
指定女學校 其以外	二	三三	八
商業學校	一	六四	一〇
專門學校	一	：	：
幼稚園	一	五四	一六

一銀貨幣發行高週報(自十月卅一日至十一月六日)

第一銀行券總發行平均高	一二、〇四三、二〇〇
內	
正貨準備發行高	四、〇八一、一〇〇
保證準備發行高	七、九六二、一〇〇
銀行券市場平均手許有高	一、四五八、三一八
平均流通高	一〇、五八四、八八二
硬貨發行額(十一月六日現在)	五、一八四、四三〇
內	
金貨二十圓	一、三五〇、〇〇〇
同十圓	五五〇、〇〇〇
同五圓	五〇〇、〇〇〇
銀貨五十錢	七八一、五〇〇
同二十錢	一、〇四三、五〇〇
同十錢	八七五、八〇〇
白銅貨五錢	七六一、八二〇
青銅貨一錢	二〇三、三一〇
同五厘	六九、三六〇

國債報償金整理決議

去る七日國債報償金臨時總會の決議に基き翌八日午後二時四十分より中部兎洞嶠南教育會に於て開會せり出席者の重なる者は尹雄烈等十八名にして左の決議を爲し同五時半散會したり

一漢城府民會一進會大韓協會皇城新聞帝國新聞、國債報償金總合所及全國十二道より各二名の委員を選定し尚金錢保管人を加へて一の整理會を組織すること

一開會期日其他一切の準備を爲すため李敏鄕李範吉金杜秉の三名を準備委員となすこと

法典調査局職員囑託

韓國政府は今回左の通り法典調査局職員を囑託したり

法典調査局委員長囑託(勅任待遇) 統監府司法廳長官 倉富勇三郎
同 統監府判事 渡邊暢
同 上檢事 國分三亥
同 上判事 城數馬
同 上同 中村竹藏
同 上檢事 膳鉦次郎
同 上同 金洛憲
同 上判事 李始榮
以上勅任待遇
統監府司法廳書記官 松寺竹雄
同 參事官 安住時太郎
以上奏任待遇
法典調査局委員を囑託す

船舶檢査法の行悩み

既報の如く韓國船舶法及船舶檢査法は既に度支部に於て案を起し印刷に付して正さに發布せんとするまでに運びたるが偶々海上衝突豫防法の違式事件より物議を釀出し遂に該法も官制上の所管たる農商工部へ廻付され目下同部の關係局課に於て審議中なり然れば度支部制度の該案は全然無要の立案たるの滑稽を呈したるのみならず實地施行上酷しき遺漏杜撰の點多きが如く結局農商工部にて新に起案するに到る可しと

商品陳列館新築設計

既報の如く農商工部商品陳列館は現在の建物狹隘の爲め適當なる建築を行ふ事となりたるが何れ新建築を計畫する以上は將來商工業の發展に適應する爲め韓國内の生産品を陳列するのみならず貿易上の參考品たる可き外國品をも多數網羅するの必要あれば京坂其他日本各地の規模を參酌し設計せんとて目下東上中の小川事務官をして視察研究せしめ然る上設計を施す都合なりと云ふ

吉林邊務公署員視察

淸國吉林省邊務公署本部參謀長陳蔚外四名は昨八日入京し各所視察の希望を統監府へ申込みたるが同府にては多大の好意を表して甘諾し韓政府へ紹介したれば農商工部にては十日より十三日まで工業傳習所龍山鹽業傳習所水原模範農場等へ案内する筈なりと云ふ

韓學童成績品展覽會

一昨七日及本日の二日間市内官立於義洞學校に於て同校男女學童四百餘名の成績品展覽會を開催したるが父兄の參觀者多數なりしと因みに同校は京城の小學校中尤も成績良好なるものなりと

ハーバートは歸米す

突然當地を去りたるハーバートは仁川より滊船に搭乘して大連に向ひ其れより更に同地より酒田丸にて上海を經て亞米利加なる故鄕に歸還せり約半年の後再び韓京に立歸るべしとの事なり

十月中の船舶出入數

仁川港に於ける十月中の船舶出入如左
滊船入港數四一隻同出港三九、帆船入港四二同出三、沿岸航行滊船三一〇同帆船二二九、漁船入港數六五〇隻乘組人員三五六三八、同出港六四七隻同人員二五五一八

英皇誕辰祝賀と京城

本日は英國皇帝陛下の御誕辰日に相當するを以て同國總領事館に於ては午前十時より十二時迄統監府及び韓國側並に各領事團の祝賀を受けられたりと

伊帝誕辰と祝賀辭退

明後十一日は伊太利皇帝陛下の御誕辰に相當せるが京城駐在同國總領事は病氣引籠中なるを以て日韓及列國領事團の祝賀は止むを得ず辭退する由なり

古在農學博士の入京

東京帝國大學農科大學教授農學博士古在由直氏には昨夜入京巳城館へ投宿せり同氏は滿韓農業視察の爲め三四日間當地滯在京義線を經て滿洲へ向ふ由

高等女學校の遠足會

本九日高等女學校生徒の遠足會を東大門外に開催する筈なりしが雨天の爲め中止天氣快晴に赴き次第擧行する由

仁川の防疫員慰勞會

仁川の防疫慰勞會は來る十三日午後五時より入阪樓に於て秋田、青木、奥田の諸氏發起の下に開催する筈なりと

南大門驛喫茶店開始

去る一日より南大門驛に喫茶店を新設したるが岡運輸課長は本日新聞記者通信社員を招待して披露の宴を張りたり

光濟號の清津港回航

仁川港に碇泊中の光濟號は營繕建築材料を積載の上昨日淸津へ向け拔錨せり

龍山停車場新築落成

新築中の龍山停車場は全く竣工せしに依り來る十一日より新停車場に移轉す

龍山の逐鹿界

戰雲將に急ならんとす

昨紙國井泉氏が單騎中原に馳驅せんとするの情報を傳へ同時に旅行中なりし或有力家の歸龍を待ちて兩三氏の蹶起を見るやも計られざる旨を報導せしが果然々々昨夜一派の有志者は凱旋町玉の江に會合し凝議の結果現議員莊司氏及國井泉、川田又藏、森芳太郎、中野伊七の五氏を候補者に推薦し直ちに前記玉の江に本部を元町三丁目太陽館、本町三丁目内田旅館、旭橋通り○萬旅館の三箇所に支部を置き有志會の名に於て活動を開始せり眞に疾風迅雷の感あり同時に同會の候補者中森芳太郎氏の名を列せるは聊か意外の感あり氏は一度逐鹿を斷念せりと傳へられしもの殊に國井泉氏と轡を駢べて中原に馳突せんは國井氏の宣明せる人物配置策に牴牾する處なきか兎もあれ事や男子の業正々堂々所信を社會に問ふ亦不可なる所以を見ず爾り而して革新同志會亦固より應戰の準備あらん同會は既に有志會に對して先鞭を着けしも唯夫れ從來の態度を變ずる莫く正々堂々男子の志を行へ至囑(九日支局報)

●仁川商信

近來は米粉大豆等弗々入荷有之候玄米は昨今幾分騰貴の氣配にて昨日の如き地摺七圓五十五錢にて百七十叺の賣買有之候殊に大豆は昨今四圓九十五錢の高氣配に有之候が這は坂地に於ける相場の引直りたると人荷僅少の折柄希望者案外に多き爲め好況を呈し居るなるべしと存候次に荏子は昨今非常なる暴落を呈し今日迄既に百丁以上下落致し居候粒は三圓七八十錢臺にて手合出來候要するに玄米及白米は内地輸出口の買物皆無にて只だ當用口の買物のみに過ぎず候然れば蛙暫らく保合の姿に有之べく候(九日)

●補任書記官赴任 忠淸北道より平安北道へ轉任したる道書記官補任阜男氏は赴任の途來京巳城館に滯在中なりし所愈明後十一日出發赴任する筈なり

●向田部長の上京 元平南警察部長向田幸藏氏は轉任先水原へ着任匆々事務打合の爲本九日上京一二日滯在の筈

●警視典獄等來仁 咸興北道警察部長陸軍吉及び公州典獄芋川正義の兩氏は昨八日來仁し稻田旅館に投宿したり

●隈本課長の渡日 學部第二課長隈本書記官は會計課長金完奎氏同伴本日渡日の途に上れり約一ヶ月滯在の筈

●山口軍醫正出發 陸軍省二等軍醫正山口弘氏は八日釜山へ向て出發す

●久次米場長入京 農商工部園藝模範場長久次米邦藏氏昨日入京山本旅館

●八田技師の歸東 統監府技師八田吉平氏昨八日出發歸東の途に就きたり

●本田博士の入京 水原勸業模範場長本田幸介氏八日來着巳城館へ投宿す

●富山典獄の出張 京城監獄典獄富山要次郎氏は昨八日大邱へ出張したり

▲治外法權▼

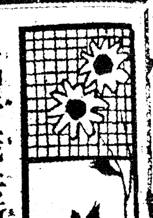
曾禰統監は内閣の命に依り不日東上するとの報傳はり引續き風邪より變態して發熱甚だしと傳はる統監の病氣は常に秘密に附せられ居るも大臣會議すら中止したりと云へば病氣と云ふが本當らしい記者は去る四日伊藤公追悼會の席上で統監の健康未だ全く回復せられざる容貌を見て折柄當日の寒氣に長席さるゝは如何と心窃かに氣遣つて居つた然るに數日ならずして病氣引籠との報を聞くは遺憾至極である藤公遭難に關し今や問題の中心とならんとする曾禰統監の不健康は何んとも殘念千萬な次第である▲東京の記者團では朴内相以下の免官運動を開始すると傳へたが是れは恐らく事實ではあるまいこんな事は何れ有耶無耶に葬らるゝであらふ▲人の噂も七十五日とかさしもに騷ぎし伊藤公遭難事件もポツ〳〵下火となり掛けた樣だ何んと云つても死なれた人が損に違ひない▲伊藤公が哈爾賓停車場で凶彈を受けた際例の古谷チョコマン先生が逸早く逃げ出したと云ふので盛んに非武士道呼はりを爲て居るが古谷クンは元來伊豫國の山奥一百姓の家に生れたので武士道杯を辨へよふ害がない百姓の子に向つて武士道呼はりをするのが抑々の間違で恰かも癩病患者に崩れなと説くも同じである。

[illegible]東京西原農事試[illegible]

[illegible]の財布を所持し居[illegible]

●本願寺の女中會 南山本願寺にては定例に依り明九日午後二時より女中[illegible]

北東の風雨後曇 八日（華氏）最高溫度五二、一 最低溫度三九、九



福井茂兵衛優（十一）

▲當地壽座に出演する

而して母は非常に怒つて「聞けばれ前は役者になつたさうだが、一体それは悠した了見だ最も今日まで放蕩をするといふ事は度々噂にも聞き實際にも見たが何にそれは世間によくある若氣の至りで何時かは眞人間になつてくれるだらう、老先の短かいこの母は只それのみを樂しみに果敢ない月日を送つて居たが今といふ今ぷッつり愛想が盡きた、如何に墮落をしたとてよもや河原乞食とまでなり下がらうとは夢思はなんだ、何の因果で怨の樣な淺ましい子が此の母の、胎内から生れ出たかと思ふにつけ、吾身ながらに吾身が恨めしい、僑のやうな奴は片時吾家に置くも家名の穢れ、先祖へ言ひ譯なし、此上は七世迄の勘當をする程に、即刻罷り立つべし」と散々浴せ掛けられ悄れ返つて引下り、わりし次第を一同に咄すと「今更爾んな事を言ふて君が廢ては困るから」といふので金泉を初め一同の連中代る〲母に詫して呉れたので漸しく御機嫌が和らぎ不承〲に默許されて、夫れで僕も心持ちよく喜んで登場しました。

興行中に横濱蔦座から申込があつたから這度は同座に乘込み「書生の犯罪」と「安宅義經問答」を演じ川上の工藤と義經僕は剛一と春子に扮しました、川上と僕が一時大衝突をした動機はこの芝居中に胚胎ので、その頃は毎日寐間に餘興として伊藤仁太郎（痴遊）が舞臺に立つて大演説を遣つたんです。

元來伊藤と川上とは犬と猿の樣な工合で一方が何か主張する、すると片方が乾度反對を打つと云ふ調子で常に不和であつた處から豫ての恨みを霽らす好時機とこの演説中に川上を酷く誹し、その對照として僕を褒めたのです、それが大評判となつて川上は人氣を失ひ非常に不平を零して居りました、從つて僕との間柄も圓滑を缺き妙な齟齬でわつたが、まあ何事もなく無事に同座を打揚げ明けて廿六年の一月一日からは鳥越座で花々敷初芝居を開場する事となり狂言は「巨塊來」で役割も夫々極まつて繪看板迄も揚げた三十一日の晩突然川上が姿を隱した、一座の喫驚一方ならず終夜手分けをして行衛を探したが更に知れない、一度ならず二度迄も莫迦にした川上の仕打が甚だ癪に障つたので廣く天下に檄文を廻して川上の敗戀を訴ふると共に、一方には貞奴の處へ數度押掛けて脅迫的に夫の行衞を詰問した（未完）

滑稽姦通騒ぎ

△魂膽の痰呵の一幕

龍山青坡電車通り梅村鐵工場側に表面餅屋を營める**長野**廿太郎といふ耄碌爺あり這の老爺なか〱の出齒龜にしてこれまで女房を取換ゆること幾十人なるを知らず骸骨なる**自然主義者**なるが現在の嚊れ捨とは龍山某料理店にて關係したるを理不盡に女房に引張り込みたる者なるが廿太郎加搗に大の嫉妬家にてれ**捨が入浴**するのにもヨボの**監視を附**して諸式者の注文取との話をするのにも耳を傾けて**注意をさ〱怠**らすれ捨は五月蠅さに堪ひ遂に**大連まで出奔**せしを廿太郎血眼に爲つて搜索頗る務めた結果四五日前**連れ歸り**たるが爾來監視を一層嚴重にし男の氣は猫でも大禁物として膝下を瞬時も放さずつひ二三日前京城西小門通りに居住する**定平**富枝多（三六）と云ふ龍山水道事務所に毎日通勤する男が廿太郎を訪ねて四方山の話の末怎だろう言ねば失敬だが此の不景氣には君も生活難澁であろうから君の娘のれ捨さんを可然**官吏**の家庭の**小間使に世話**して遣ろうと事情を知らぬ定平が親切に相談したるに同人は大に怒り貴樣は這のれ捨を何と思ふて居るぞこれは俺れが嚊だとのとに富枝多は娘が孫位に思ふて居たので大に驚き匆々歸宅せるが翌日廿太郎は自分が平素某請負師の人夫周旋を内職とせるを以て**數人**の屈強なる韓人を**助勢**として隣家の古物商を營める羽織破落を京城の**富枝多方**へ差向け**姦通料**として即刻**二十圓**渡せと音羽屋もどきの痰呵と切りて強請らんと巧みしかども富枝多も去る者いつかな聽かず廿太郎の乾分は不得要領で悄々と引揚げたるが廿太郎は這の情報に接し憤慨措く能はず目下部下の不頼漢を集めて第二の襲撃策講究中との事なればうんじよ其處等で何れ遠からず面黒からぬ紛擾を醸すならんと口善惡なき韓童の噂を書くの通り

日婦人韓人を射撃す

▲銃の扱方を教へるとて

龍山白濱町朴明川（三〇）は昨八日正午過ぎ己が所有家屋に借住みせる日本人某方へ訪ひしに折から主人不在にて某が女房のれ何一人留守し居りしが朴は日本語も少しは話せるより何彼と世間話に打興じ居る中不圖壁に懸けたる獵銃を見て朴は未だ銃を持ちたることも無きが如何にして射擊ものぞと問ふにれ何は打笑ひ男の癖に銃持つ術も知らぬとは余程バーサキサラミぞと銃を手に取り身構へつゝ斯くするものよと引鐵に指を懸くるやズドンと一發朴はアッと叫びて打倒れ銃口に迸しる烟の下にノタ打ち廻はるを見つゝれ何は茫然として口も利き得ず眺め居しが朴がアイゴーと泣き出せし爲め初めて我に返へり見れば朴が右腿の邊に中りしか白袴紅に染みたるより腰を抜さん計りに打驚き近所の人を賴みて鐵道構内同仁醫院に送り治療を受けしめしが幸に傷は輕く三十日も經たば全癒すべしと困より過失のことなれば深く咎むるには及ばねど今や獵季に入りて獵銃も多く袋を出でたれば馴れたるも馴れざるも能く〱注意すべきことなり

●**飲時だけの大盡** 廣島縣平民當時京城明治町一丁目卅九番戸吉岡政次郎（三九）は昨八日午后八時頃踏町卅七番戸飲食店松善事米川みせ方へ膽懸に揚りて酒肴を命じ酌藝妓二名を招きて酒間を斡けさせ其際紙幣ばかりで小錢が無いから一寸立替ねて呉れさて現金二圓を樓主に出さしめ同亭にては不景氣の折柄よきれ客なりとて非常に厚遇したるにぞ政次郎は大機嫌にて翌日午前一時過ぎ迄も散財したるまでは大出來なりしがイザ勘定の一段となるや七圓九十錢の支拂ひに鐚一文も所持せずして言を左右に托して逃走せんとせしかば亭主は青くなつて南部署へ訴出で遂に警官出張して同人を無錢飲食者として本署に拘留せられたり

●**保險會社新築競爭** 東洋生命の新事務所は鐘路に落成し、帝國生命の新建築は南大門通に落成したる今日東京火災保險會社は南大門通り三丁目なる三好和商店を金五萬圓にて買受け不日同所に於て營業事務を取扱ふべしと云ふ各保險會社が今日爭つて事務所を擴大し氣勢を張るは商略上必要なることなるやも知れざれども一方より見れば甚だ恐の極にして事務所に費用を掛けるよりは保險料の低減を計ることが却て商業繁昌の基とならんかさるにても斯る際に地所家屋を小高く買附け獨り利益を占めて知らぬ顏の半兵衛を極め居る三好さんの如きは拔目もなく人

●**機械に捲込まる** 仁川本町三丁目石油商河津利三郎の長男喜次郎（十一）は一昨日午後八時廿分頃父の經營に係る同地濱町一丁目の製粉所に例日の如く遊びに至り誤ちて衣類の裾が製粉器に觸れたるため哀れや器械に捲き込まれて後頭蓋骨に大裂傷を被り其儘悲慘なる横死を遂げたるより浩信仁川署に訴出で檢視の上遺骸は家人に引渡されたるが昨年右喜次郎の弟を失ひたるに今亦行末は杖とも柱とも賴みぬる長男を亡せし河津家の不幸氣の毒と云ふも愚かなり

も少々は惡るき方なりと電車にて客立斷しを聞くまゝに書くの如し

●**車夫巡査を罵倒す** 廣島縣生れ當時京城踏町百廿六番戸寄留伊藤組車夫越智常一（三〇）は昨日午後本町三丁目伊藤組頭梁伊藤友松方店先に於て熟醉の結果友松に口論を仕掛け挾子の仲裁も肯せず益々喧騷を極めつゝある所に巡邏中の警官に説諭を加へられしがグット癪に障り巡査を罵倒し剩へ喰つて掛りたれば遂に南部署に檢束さる

●**壽座の松風村雨** 壽座に出演の福井、伊東合同劇は今明兩日間「松風村雨」を演ずる筈なりしも同劇は非常に大道具を要する爲め一日の準備にては調達間に合はず止むを得ず今九日一日丈け休演し明十日明後十一日の兩日間同劇を演ずる筈なりと

●**國葬實況繪はがき** 大阪市西區京町堀通一丁目若林獨立軒製版所は逸早くも東京へ技師を出張せしめ實況を撮影し詳明なる寫眞版コロタイプ繪はがきを紀念として引く發賣せしに非常に申込多大なりと云ふ

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

十一月十日舊九月廿八日二黑赤口甲戌

△一白 他人の事に牽聯して損害又は迷惑を受くるあり金屬の業務には大に良好の日なり△二黑 間違紛擾起り易し又過失により自他の器物什寶を損讓するの恐あり△三碧 音信により小驚又は出損の勞苦起らん旅行轉住入學門等凶尚盗失防くべし△四綠 夫婦交友近親間に爭論起り易し伐木勤士には吉△五黃 婚姻集團結合等凶其他に付ては平穩△六白 快欣の日なり良好たり但し家庭又は交際上出損又は損害あり△七赤 收益又は快心の事あり但し團合結社婚姻備入等は之を見合すべし△八白 更改轉移の事良好家族從者の事配慮を要す△九紫 家庭近親のため出損又は痛心事あり其外平凡木工の業務には吉

平民文庫

▲七日の夜十二時半頃花月の君江拍子は本町四丁目邊を南へ向けて腕車を飛ばして居たが花月へは這入らず旭町の方へ下りた、何所如何なる御方の御邸へ伺候せられたのか〱〱他事ながら氣が揉めて遂々一晩眠られなかつたと口惜し相に日の出湯の風呂の中で時化を食つた豬の樣に眼の玉を眞つ赤にして話して居た人があつた（代言人）▲貴新聞の休刊日を文に現はすには「日曜及び祭日の翌日」と書くのと「月曜及び祭日の翌日」と書くのと何れが正當なるか鈍才な自分に分らぬのも道理貴社だつて先月迄は兩方書いて居つた位だもの（はの字）▲皮肉くり升ね併し此れは月曜及と云ふ方が正當ですな（小僧）▲鴻池ちさ子に代りて「野に山に狩り樂む人の世に我のみ淋し秋の夕暮」「玉の緞錦のねやも屑の如さちなき身には君のなさけを」「笑ふ人嘲る人怒る人秋の哀をいかに見るらむ」（酉漢生）▲此の頃發行せらるゝ雜誌類は多く野依式に成つて居るが彼れ野依も又一怪物たるを失はぬと思ふが小僧君如何（巴）▲傑いか偉いかは知らぬが兎に角一怪物です、彼れは精力絶倫の男だ此の點は彼れに學ぶ所ありて可なりである（小僧）▲壽座の福井茂兵衛及伊藤文夫一座は非常に好景氣である好景氣であるも其の筈此の一座ほど揃つた役者は來たことはないもの（讃美子）▲朝鮮内地には未だ暴徒が居るのですか居るものとすれば團体移住者には武裝することを許されるのですか一寸伺います（鳥取縣人）▲西小門通りの入口の溝に架けた橋はモー一月以上も毀れたまゝになつて居るが修繕し相にも爲ぬ一体何う云ふ量見なのか不肖僕等には分明せぬのだ（近所の男）▲分らねのは朝鮮人の了見計りぢやねナア（給仕）

▲無料紹介欄▼

人事部

●募集 敏腕なる外交員至急入用希望者は直接京城本六滑稽新聞社來談あれ

●少年入用 十七八才少年入用 大和町一丁目 爲春堂醫院

小僧入用 大和町一丁目 藤井出張店

●被雇度 年三十二体強健如何なる勞苦をも不厭相當の勤め口を求む 氏名在社(四六七)

●賣子入用 多少商業に經驗ある女子に限る希望者は本人來談あれ 京城大和町一 日の出橋際藤井出張店

●植字に雇はれたし給料不望 氏名在社(四六六)

●小僧入用 年齢十五六歳にして身元引受人ある者二名至急入用 明治町 日韓印刷會社

●至急求職 確實なる保證人を有する身體强健なる壯年男兒如何なる勤務にても厭はず至急職を求めたし 氏名在社

●望事務員 相當の教育ある靑年至急職を求む 氏名在社(四七三)

●外交員募集 一日一圓以上の收入ある外交員一名至急入用 氏名在社(四七七)

物件部

●貸家 南山町二丁目二階建二間温突外八疊外三間井戸附右今月より貸したし家賃面談 氏名在社(五六四)

●電話 未設(不日かゝる分)讓渡したし 氏名在社(四六二)

●貸家 官吏向二、三、六、八疊瓦葺平家一棟湯殿物置附屋門構有家賃三十圓 氏名在社(四六一)

●醫院讓渡 京城市内有望の地希望の方は至急申込あれ 氏名在社(四六三)

●京城旭町一二階四疊半二間賄付貸たし但可成官吏を望む 氏名在社(四六四)

●電話讓受たし 京城黄金町廿番戸與商工部前通り 京城勞働組(四六五)

●本町表通一等地商店向間口二間半家賃廿圓の處造作悉皆四十圓にて讓渡度し希望者は鐘路赤帽子號高橋方へ急談

●貸家本町通り目抜の場所にて貸家あり希望者は來談あれ 氏名在社(四七〇)

●自轉車 英國製コースター付格安に賣渡したし 氏名在社(四七六)

●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と廻椽二階六疊二間廻椽井戸物置湯殿付家賃面談 氏名在社(四七八)

廣告